

# 家庭教育通信

10歳からの子育て  
～思春期の入口に立つわが子～ 10

第58号 平成29年11月11日発行

## ずるい！

塾帰りの家への連絡のため、お兄ちゃんはこの春からスマートフォンを使っています。妹もスマートフォンをほしがっていますが、まだ買い与えていません。

でも、妹を優先し、お兄ちゃんに我慢させることもよくあります。きょうだいであっても公平にいかないことは多いのです。

しかし、毎日のように「お兄ちゃんはずるい」「お母さんは妹の〇子には甘い」と言われている親にとっては一体、どうしたらいいのかと悩みはつきません。

こどもたちが不平不満を口にするのは、自分より他のきょうだいにより多くの愛情が注がれているように感じている時、自分を認めてもらいたい時です。

まだ周囲の環境や自分の育てている家の経済状況などを理解しにくいこどもたちは自分の限られた環境のなかで、物事を判断します。

ですから、「ずるい」を連発するときは、状況を判断できるような情報を伝えるチャンスです。

「お兄ちゃん、暗くなっただなかでおうちに連絡したいでしょう。だからスマートフォンが必要なのよ。〇子ちゃんも中学になったら買ってあげるからね。順番よ。今はまだ、我慢してね。みんなの通信料金を払う余裕がないし」と伝えましょう。

逆に、いつも妹が優先されて自分の話には耳を傾けてくれないと思っているようなお兄ちゃんには時には年齢不相応に甘えさせてあげることがあってもいいでしょう。

「いつもありがとうね、お母さん、わかっているのよ、見たいテレビ、〇子に譲ってくれているよね。」と伝えましょう。

### こどもたちのとりとめのない話に耳を傾けよう

共働き家庭が増えるなか、こどもたちは親たちとゆっくり話す時間を失いがちです。「ずるい」はそんな大人たちにむけられた警告かもしれません。

こどもたちのとりとめのない話に耳を傾け、また伝え返す時間を大切にしたいものです。

庶務課社会教育担当

TEL (3647) 9676